

教育方針	Ever Shining —夢に向かって心と体を動かし、 みんなを輝かせる人であれ—	重点目標	I 6年間を見通した一貫教育を進め、高い進路実現を目指します II 幅広い年齢集団での活動を生かして、豊かな人間性を育てます III コミュニケーション能力を高め、生きる力を育みます
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
I 生徒一人ひとりの進路希望を実現	(1) 大学の合格率	国公立大学及び難関私立大学の合格率75%以上を目指します。 A: 100~75%、B: 74~65%、C: 64~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	C	3/22時点で国公立大学者数が89名となった。一般選抜の受験者数に対する合格率は64.5%である。難関私立(早慶、東京理科、マーチ、関関同立)の合格率は約55%であった。	総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜と多様化する入試に対し、最適な指導を行うため、6年間を通じた進路指導、デジタル情報を活用した学習指導・進路指導の個別最適化を進めていきたい。
	(2) 難関国公立大学の合格率	東京大学・京都大学等の難関国公立大学及び医学部医学科の合格率15%以上を目指します。 A: 15%以上、B: 14~10%、C: 9~7%、 D: 6~5%、E: 5%未満	C	3/22時点で京大1、名大1、九大5、神大2、医学部医学科3の合計12名の合格者が出ており、6年生総数に対する割合は8.6%である。	今年度は難関国公立大や医学部医学科の受験者数に対する合格率が非常に高く、上位者の実力養成と受験校選択がうまくいったといえる。今後は、総受験者数を増やしていくために、前期から生徒の能力や進路意識を高める取組に力を入れていきたい。
	(3) 進路意識の向上	「進路意識が向上したか」という生徒・保護者アンケートにおいて肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~80%、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	生徒 B 保護者 C	生徒の74.9%が肯定的な評価をしている。 保護者の66.7%が肯定的な評価をしている。	コロナ後を見据え、6年間を見通した進路指導や、体験活動を含む進路研究を進めることで、生徒の進路意識を更に高めていきたい。また、自ら進路を意識した学習に取り組む態度等を育成していきたい。
II 6年間を見通した志を育てます。キャリア教育により	(1) 質の高い授業の実践	「質の高い授業が提供されているか」という生徒・保護者アンケートで肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~80%、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	生徒 B 保護者 B	生徒の79.3%が肯定的な評価をしている。 保護者の76.8%が肯定的な評価をしている。	ICT機器や各種学習系ソフトを活用した授業手法に関する実践と研究を更に深め、学習の効率化を図り、自学自習の習慣を定着させるとともに、新学習指導要領や新しい入試制度に対応できる授業の構築を目指したい。
	(2) 生徒のスキルアップを促す課題研究	「質の高い課題研究活動が行われているか」という生徒・保護者アンケートで、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~80%、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満	生徒 B 保護者 C	生徒の76.0%が肯定的な評価をしている。 保護者の64.38%が肯定的な評価をしている。	「総合的な探究(学習)の時間」のカリキュラム内容を更に充実させ、課題研究に必要な能力やスキルを育成する学習計画を立案し実践力を向上させていきたい。また、課題研究の成果を保護者に積極的に発信していきたい。
	(3) 実用英語技能検定(英検)の取組	英検取得の目標を設定し推進します。 ① 前期課程終了時点で、3級取得100% A: 100~95%、B: 94~90%、C: 89~80%、 D: 79~70%、E: 70%未満 ② 準2級取得80%以上 A: 80%以上、B: 79~70%、C: 69~60%、 D: 59~50%、E: 50%未満 ③ 2~1級取得40%以上 A: 40%以上、B: 39~35%、C: 34~30%、 D: 29~25%、E: 25%未満	C B A	前期課程終了時点で、3級取得者は89.3%となった。 準2級取得者72.6%となった。 2~1級取得者43.2%となった。	3級の取得状況に関しては改善傾向にある。引き続き受験機会を確保し、意欲を喚起していきたい。準2級の取得率の改善のためには、2次試験の対策ともなるスピーキング活動を充実させていきたい。

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
Ⅲ 人 多 間 く 性 の や 活 動 の 性 場 を 育 て ま す 。 豊 か な	(1) 学校行事の満足度	「学校行事に対して満足しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 B	生徒の81.9%が肯定的な評価をしている。	今年度は、感染防止対策を実施しながら、行事が活性化する工夫を施してきた。感染症の流行をみながら、適切な学校行事のあり方を今後も検討していきたい。
			生徒 B	保護者の80.9%が肯定的な評価をしている。	
	(2) 部活動の満足度	「部活動に対して満足しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 B	生徒の80.0%が肯定的な評価をしている。	部活動についても、各種感染症の感染状況の推移に留意しながら部活動を推進し、円滑な運営と充実した活動となるよう留意していきたい。
		保護者 C	保護者の75.7%が肯定的な評価をしている。		
(3) 図書館活動の充実	図書館の年間貸出冊数を一人当たり、前期課程12冊以上、後期課程7冊以上とする。 前期 A: 12冊以上、B: 11~10冊、C: 9~8冊、 D: 7~6冊、E: 5冊以下 後期 A: 7冊以上、B: 6冊、C: 5冊、 D: 4冊、E: 3冊以下	前期 D	3月5日現在、前期課程は、一人当たり7.6冊であった。後期課程は、一人当たり3.2冊であった。	貸出冊数は減少傾向である。特定の生徒に利用が集中している。読書週間中に行事などを実施するなど、読書活動の啓発に努め、読書をより身近に感じる指導や『らいぶらりNEWS』の配布などに工夫をし、魅力ある図書館にしていきたい。	
		後期 E			
Ⅳ 管 基 本 的 な 生 活 生 徒 習 慣 を 育 て ま す 。 自 己	(1) 挨拶と清楚な身だしなみの習慣化	「挨拶や清楚な身だしなみが習慣化しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 A	生徒の92.9%が肯定的な評価をしている。	良好な状態が続いており、高評価も得ている分野である。引き続き、あいさつ等の指導を充実させていきたい。また、校外においても良好な態度が取れるよう引き続き指導していきたい。
			保護者 A	保護者の92.7%が肯定的な評価をしている。	
	(2) 社会規範の遵守	「社会のルールをしっかりと守っているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 A	生徒の93.1%が肯定的な評価をしている。	良好な状態が続いており、高評価も得ている分野である。引き続き、指導を行っていきたい。特に、交通安全については、道路が混雑する通学路を利用して通学している生徒が多いため、指導を徹底していきたい。
		保護者 A	保護者の90.8%が肯定的な評価をしている。		
(3) 温かい思いやりの心	「他者に対して思いやりと持って接しているか」というアンケートに対して、肯定的な評価が100%になることを目指します。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	生徒 B	生徒の89.2%が肯定的な評価をしている。	良好な評価を得ているが、よりよい人間関係を築くことができる力と態度を育てることに努めていきたい。そのために、生徒一人一人を見守りながら、必要な指導やアドバイスを適切に行っていきたい。	
		保護者 B	保護者の81.2%が肯定的な評価をしている。		
Ⅴ 改 業 善 務	職場環境満足度	働きやすい職場環境に向けた改善が進んでいると感じる教職員が100%になることを目指す。 A: 100~90%、B: 89~80%、C: 79~70%、 D: 69~60%、E: 60%未満	E	教職員の44.4%が肯定的な評価をしている。また、「どちらでもない」の回答が26.4%となっている。	昨年度に比べ、肯定的回答が11.5ポイント上昇したが、低いレベルが続いている。教職員の意見を取り入れながら、さらなる職場環境の改善に取り組みたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。